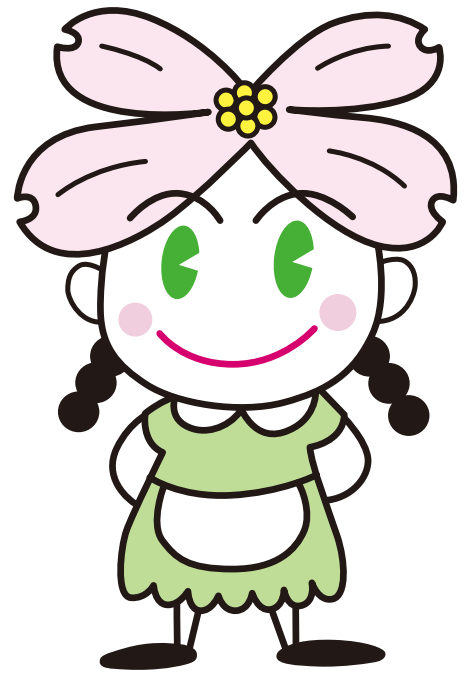


花みずきの 咲く風景

日米親善の花の交歓が行われてから百年、小松島市民の手で育てられた花みずきは、市内各所に花を咲かせ、昭和五十三年（一九七八）にはアメリカ大使館との交流も始まった。

小松島市では、小松島市青年会議所が中心となって、明るく住みよいまちづくりをめざして花みずきの植樹運動を展開しています。この運動は、昭和五十一年（一九七六）青年会議所メンバーの発案によって始まり、後に「花水木を育てる会」が結成され、以来、市内各所に植樹を行うとともに、市民に販売して各家庭の庭で育ててもらおうと、さまざまな運動を展開してきました。こうした地道な育成活動の積み重ねによって、昭和六十三年には正式に小松島市の花として制定され、市内各所に根付いた花みずきは、四月下旬から五月にかけて白やピンクの可憐な花を咲かせては、市民に憩いと潤いを提供しています。



みずきちゃん

A tree-planting campaign for flowering dogwoods has been going on since 1976. The local residents' decades long efforts have made the trees' roots deep in our city. The lovely white and pink flowers bloom in the spring throughout our city.

「想いを伝える」 花水木運動

「今年の花水木は、静かに寄り添って励ましてくれる気がします」と話してくれた方がいました。花水木の花言葉は「想いを伝える」です。

きつとコロナ禍の不安な気持ちから、可憐な花を見てそんな想いが伝わったんだと思います。

最近の花水木を育てる会の事業は「ハナミズキ秋の音フェス」を開催し、音楽とともに市民の皆様へ想いを伝える新たな事業を展開しています。

そして数年前には、「日峯大神子広域公園」で昔のように写生大会の被写体など身近に寄り添って親しんでもらえるように「花水木エリア」では「上から眺める花水木も綺麗ですよ」とのお声を頂き、新たな魅力を伝える花水木を楽しんでもらえると思います。

花水木を育てる会

会長 中川 正道さん

